第30回企画展

平成25年
8月10日（土）
～9月29日（日）

八潮の災害史

―先人に学ぶ江戸時代から現代まで―

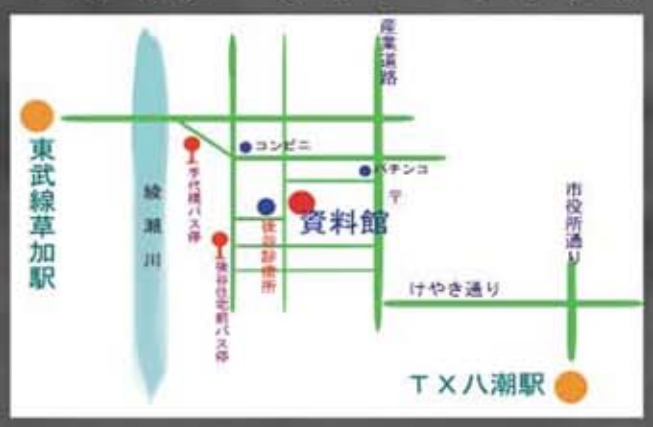
「防災の日」関連事業（学芸員による展示解説と講座）

8／18（日）午後2時～3時30分　第1回講座テーマ「八潮の人々と災害」
9／1（日）午後2時～3時30分　第2回講座テーマ「江戸時代の災害のしくみ」

昭和41年、台風4号による集中豪雨（南後谷）

八潮市立資料館

開館時間：午前9時～午後5時
入場料：無料　休館：月曜日
※9月16日・23日は開館し、翌日休館
埼玉県八潮市大字南後谷763番地50
☎048－997－6666



○ 開催の趣旨

東日本大震災以降、地震や噴火が多く、海に囲まれた日本列島に暮らす私たちは、自然災害への関心を一層高めました。それは、各地の博物館・資料館・図書館などで、災害を取り上げた展示会が多く開催されていることにも反映されています。現在、各地の機関では、その個性や特色を活かし、それぞれの視座から災害というテーマを改めて考える試みが広がっています。

八潮市立資料館では、平成元年（1989）の開館以来開催してきた29回の企画展において、水害や地震といった災害について取り上げています。また、常設展では「水と生活」というテーマを掲げ、現在も踊り場展示でカスリーン台風を取り上げるなど、歴史資料を通じて八潮と災害の関係にアプローチする試みを積極的に行ってきました。そこで、今回の企画展では、これまでの資料館の試みを発展的に継承すべく、水害・地震を包括する「災害」の総体を対象とします。そして、主に江戸時代から現代までの時期を対象に、八潮の地に生きた人々が災害をどのように捉えてきたのか、災害にどう向き合ってきたのか、という点を明らかにしていきます。

今回の企画展の会期は、東日本大震災から２年半であるとともに、関東大震災から90年後の9月1日を含んでいます。そのような時期に行う企画展に、「八潮の災害史-先人に学ぶ江戸時代から現代まで-」というテーマを選ぶことで、災害という観点から「八潮の歴史」の新たな側面を照射するとともに、災害との向き合い方を「八潮の歴史」から考えるための素材を提供できるはずです。「歴史＝過去のこと」を見るだけの展示ではなく、来館者の方々が自分自身に即して展示を見て、考えることができるよう、キャプションや関連講座などでは、できるだけ分かりやすい説明を心がけていきます。

○ 展示構成

１　災害とは何か？
「八潮の災害史」というタイトルから想像する展示の内容、そして「災害」と聞いて真っ先に思い浮かぶ事象は、それぞれの災害体験によって違うはずです。このコーナーでは、これまで八潮をどのような災害が襲ってきたのか、年表を軸に据えて振り返ります。

２　過去を見直す
このコーナーでは、資料館が開催してきた過去の企画展で展示してきた資料を、「災害」という観点から見直します。見てきたはずの資料から、いま向き合うべき課題を克服するヒントを見つけ出せるのは、多くの方々に支えられて資料館が成り立ってきた（いる）からこそ、ということをお伝えします。

３　江戸時代の複合災害
日々、国内外を問わず起こっている災害。これからも起こるであろう災害に、私たちはどう向き合えば良いのか。このコーナーでは、天明3年（1783）の浅間山噴火に焦点を当て、災害の発生から被害拡大までのメカニズムを学びます。

４　災害と「人のこころ」
地震発生直後の速報、余震・津波の警告、家族や友人の安否確認。私たちが当たり前のように思っている環境が無い江戸時代、災害時に人々はどう対応したのでしょうか。このコーナーでは、地震・洪水・飢饉・噴火などの災害が起こった際の、「人のこころ」に着目します。

５　近代の八潮
今年は、関東大震災から90年目にあたります。写真や新聞などによる記録がのこり、当時の映像を見ることもできる明治以降の災害ですが、このコーナーでは、当時の八潮に生きた人々の目線からそれらの災害を見て、今に続く八潮の歴史を考えます。

６　八潮の災害経験値
資料が伝えてくれるのは、過去に災害があったという事実だけではありません。このコーナーでは、八潮の地に生きた人々の営みに、資料を通して触れていきます。「防災」や災害からの「復旧」「復興」に関しては、さまざまな見地からの提言がなされています。それらについて、自分自身に即して考えるためのヒントを、八潮の歴史資料に見出していきます。

交通案内

●東武草加駅より八潮駅北口行バスにて手代橋バス停下車、徒歩５分
●東武草加駅より徒歩25分
●ＴＸ八潮駅より柳之宮経由草加駅東口行バスにて後谷住宅前バス停下車、徒歩３分
※駐車場には限りがございますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください

八潮市立資料館

八潮市大字南後谷763―50　TEL 048―997―6666
http://www.city.yashio.lg.jp/siryoukan/

背景文書：「古今稀成天変覚書記」（上馬場濵野家文書１０７２）
背景写真：「危機刻々迫る中川堤防を警戒する人々」（八條村）
『昭和22年９月 埼玉縣水害附録寫眞帳』